

# 岡山大学経済学会大講演会

## リスク対応からみた政府の役割

東京大学大学院経済学研究科教授

井堀利宏先生



日時 2012年5月30日(水)

午後4:00-5:30

会場 創立五十周年記念館

略歴：1952年生まれ。岡山県倉敷市出身。1974年東京大学経済学部卒業。1981年Ph.D(ジョーンズ・ホプキンス大学)。1995年より東京大学経済学部教授。専門分野：財政学・公共経済学。受賞：1984年日経・経済図書文化賞、2001年石橋湛山賞、2004年全国銀行学術研究振興財団賞、2011年紫綬褒章。

井堀先生の研究は広範囲に及びますが、特に、世代重複モデルを用いた財政が資本蓄積に与える効果、公共財の自発的供給モデルを用いた国際的政府間関係、および、日本の財政赤字と財政再建に関わる研究に大きな貢献があり、先生の業績は海外でも高く評価されています。国内では日本経済学会会長や日本財政学会代表常任理事(会長に相当)を務められ、我が国の財政・公共経済研究において中核的な役割を果たされてきました。

また、先生は、長年にわたって政府税制調査会委員、国税審議会委員、財政制度等審議会委員、郵政行政審議会委員など多くの政府審議会の委員を務められ、制度改革や税制改革の方向づけなど、我が国の財政政策上重要な諸課題に対して多大な社会的貢献を果たされています。なお、地元倉敷市のご出身ということもあり、山陽新聞にもたびたび評論をご寄稿されておられます。